

新たな「地震動予測」及び「津波浸水想定」の公表にあたって

和歌山県では、「発生頻度の高い地震（東海・東南海・南海3連動地震）」及び「最大クラスの巨大地震（南海トラフ巨大地震）」の2つの地震を対象として、平成25年に「津波浸水想定」を、平成26年に「地震被害想定」をそれぞれ公表しました。

これらの想定公表から約10年が経過したこと、また、令和7年3月に内閣府が「南海トラフ巨大地震の被害想定」を見直したことなどを踏まえ、本県の地震・津波被害想定を見直すこととしました。

内閣府の被害想定を踏まえつつ、最新の知見や専門家の意見等を取り入れ、前回の地震・津波被害想定の見直しを進めている中で、今回、「地震動予測」及び「津波浸水想定」をとりまとめました。

前回と比べると、県全体では地震動や浸水面積については大きな違いはありませんが、津波高や津波到達時間については高くなった、または到達が早くなった市町もあります。発表した津波高、津波到達時間というのは、各市町における一つの地点を示す代表値であり、当該市町全域がこれらの数値になるものではありません。

県民の皆様におかれましては、この結果に一喜一憂することなくお住まいの地域の状況を確認いただき、今までどおり「住宅の耐震化」、「家具固定の推進」、「避難経路の確認」などの自助の取組や地域での共助の取組を進めていただくようお願いいたします。

なお、各市町村ではこの想定に基づきハザードマップの見直しなどが行われる予定です。

また、「被害想定」については、令和8年度の早期公表に向け取組を進めるとともに、防災・減災対策の検討も併せて進めてまいります。

令和8年3月25日

和歌山県知事 宮崎 泉